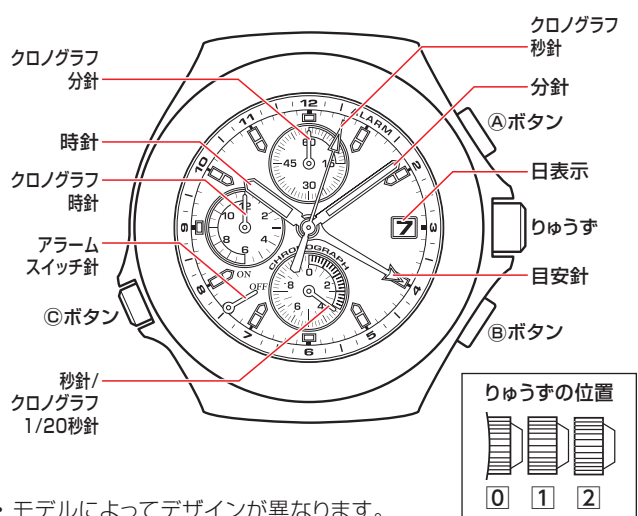


058* 簡易操作ガイド

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。
- スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)をご参照ください。

時刻を合わせる

1. りゅうずの位置を②にする
 - 秒針が0秒を指します。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
 - 日表示が切り替わったときが午前0時です。午前午後を間違えないように注意します。
 - 4~5分進めてから正しい時刻に戻すように合わせると、より正確に合わせられます。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして、終了する
 - 秒針が動き始めます。

日表示を合わせる

- 時計が午後9時~午前1時を示しているときは、日表示合わせをさけてください。日表示が切り替わらなくなる場合があります。
- この時計は、3月、5月、7月、10月、12月の各1日には、日表示の修正が必要です。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを左に回して、日表示を合わせる
 - 右に回すと、目安針が移動し、アラームの設定時刻が変わります。
3. りゅうずの位置を②にして、終了する

クロノグラフを使う

- 1/20秒単位、最大12時間まで計測できます。12時間経過すると再び0秒から計測を始めます。
- クロノグラフ1/20秒針はスタート30秒後に0秒位置に停止して、ストップさせた時に計測時間を表示します。

1. りゅうずの位置を①にする
2. ②ボタンを押す
 - 秒針が0秒位置に停止し、クロノグラフ1/20秒針に切り替わります。
3. ①ボタンを押す
 - クロノグラフが動き始めます。
 - スタート / ストップ：①ボタンを押します。
 - リセット：ストップ中に、②ボタンを押します。
 - クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行ってください。

クロノグラフ秒針の0位置を合わせる

- クロノグラフをリセットしても、クロノグラフ秒針が0秒位置にもどらない場合、強い衝撃等でクロノグラフ秒針の位置がずれた場合に、この操作を行ってください。

1. りゅうずの位置を②にする
 - ①ボタンを押してクロノグラフ秒針、②ボタンを押してクロノグラフ1/20秒針を0秒位置に合わせます。
 - ①、②ボタンを押し続けると、クロノグラフ針の早送り修正ができます。
2. 時刻を合わせて、りゅうずの位置を①にする
 - ②ボタンを押して、クロノグラフ各針が0位置にリセットされていることを確認してください。

アラームを使う

- 12時間制のアラームを使うことができます。
- ③ボタンが引かれた状態で、目安針と時針が重なるとアラームが鳴ります。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを右に回して、アラーム時刻を設定する
 - 左に回すと、日表示が変わります。
3. りゅうずの位置を②にする
4. ③ボタンを引く
 - アラームが「ON」になります。

アラーム音をとめる

- ③ボタンを押し込みます。
- アラームは「15秒間鳴った後、2分45秒間無音」を1回とし、これを5回繰り返します。

アラームのON/OFFを切り替える

- アラームON…③ボタン引き出し位置
- アラームOFF…③ボタン押し込み位置